

第6回平戸市行政改革推進委員会議要点録（事務局用）

日 時	平成 28 年 10 月 3 日（月） 13：00～14：40
場 所	平戸市役所 4 階 会議室
出席委員	別紙のとおり
事務局	松田総務部長、（行革推進課）平松課長、石田班長、長嶋主事

【次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) 行政改革の取り組みについて
「行政改革推進計画進捗状況及び中期プラン」
 - (2) 公共施設等の適正化について
「公共施設等総合管理計画」
3. その他

委員名	質疑等
事務局	定刻になったので、第6回平戸市行政改革推進委員会を始める。開会にあたり、松永会長より一言あいさつをお願いします。
会長	皆様、本日はお集まりいただきありがとうございます。本日は、行政改革推進計画の修正点と公共施設等総合管理計画における削減目標と集会施設の利用状況について報告を受けることになっている。
事務局	前回開催の際、次回を8月下旬としていたが、本日の開催となってしまったことをお詫びする。次回の開催は今月下旬を予定しているので、よろしく願います。
事務局	行政改革の取り組みについて資料により説明。 ・平成 25 年度の当初予算を起点とし、翌年度予算との差を効果額とする計画にも関わらず、平成 25 年度の実績を平成 24 年度予算と比較しているため、計画と実績にずれが生じている。 ⇒平成 25 年度の実績は平成 25 年度の予算と平成 25 年度の決算との差を、平成 26 年度以降の実績は昨年度の決算と本年度の決算との差とする修正としたい。
会長	今の説明について、ご意見があれば願います。
委員	本委員会で、こまかい数字の議論をする必要があるのか。本来であれば、計画に対してできたことできなかったことに対し、できなかった部分を改善するような議論をすべきではないか。
事務局	ごもっともな意見である。しかし、計画そのものに問題があり、誤った形で続けていけないため、今回修正案を示し協議いただくところである。

委員	このような計画は、3年とかの期間で見てどうだったのかを検証しなければいけないのではないかと。大きく目につくような差であれば単年度で検証することも必要だが、単年度の計画と実績の小さな差は様々な理由により生じるのは当然である。貰った資料は目を通してはいるが、このように単年度の小さな差の検証まで本委員に求めているのか。
事務局	あくまでも現在の計画に問題があるため、修正した形で中期プラン策定をする上で各委員の意見をいただきたいと思っている。今回示している資料の計画と実績の差を議論いただきたいわけではない。
委員	そうであれば、資料の見方を示すべきである。資料のポイントをまとめた1枚ものでもあれば理解できるものが、この資料だけ渡されてもどう見ればよいかわからない。何を議論してもらいたいのか明確にした資料作成をお願いする。
事務局	資料がわかりにくかったことをお詫びする。
委員	資料に全て0の欄があるが、どういう意味か教えていただきたい。
事務局	これについては、効果額が算定できない項目ということで全て0としている。
委員	数字の意味を考えて資料作成をお願いしたい。例えば、平成28、29年度の実績は今でるわけないのだから空白にしていればいいが、0が入っていたり紛らわしい。
会長	考え方や報告の仕方が変わったという修正をしていただければよい。
事務局	本日の意見を受けて、作りなおした形で次回お示しする。
委員	計画にないものをまとめた実績として出すとか、課別に実績を出すとか、セクションごとにまとめていただけると、どこに問題があるか等わかりやすくなるのではないかと。
事務局	ごもっともな意見である。最後にもう一点説明させていただく。昨年までの実績報告書について全部で53項目あり、その計画と実績の数字をまとめたものが本日説明した資料である。この53項目を中期プランでどうしていくかということを議論していただくことが本来の目的であるが、まずは計画と実績の出し方を整理する必要があった。次回には、数字や文言を修正した形で53項目を示させていただく。さきほど委員から指摘があった課ごとにわけた表も示させていただく。
会長	次回開催時期と資料を早めにしていただけると助かる。
事務局	できるだけ早めの対応をさせていただく。

会長	ほかに無ければ、レジメ 2 (2) 公共施設等の適正化について事務局より願う。
事務局	<p>資料により、公共施設等の適正化について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築系公共施設（ハコモノ）の更新費用は48.5億円/年と試算。 ・ 土木系公共施設（インフラ）の更新費用は15.6億円/年と試算。 ・ 平戸市財政健全化計画によると平成35年度の投資的経費は28億円/年と試算しており、その場合36.1億円/年が不足することになり、約5割の施設を削減しなければならない試算となる。 ・ 統廃合の目安になるよう施設を点数評価しようとしている。（内容には不備があるため、委託業者と調整中） ・ 評価する項目としては、「更新・長寿命化計画の有無」「修繕・改修計画の有無」「耐震診断の実施」「耐震工事の実施」「劣化調査結果」「建築コスト」「運営支出」「運営収入」「運営収支」「利用者数」「多機能性」「類似施設の有無」の12項目。 ・ 集会施設の利用状況、収支状況を説明。
会長	今の説明について、ご意見があれば願う。
委員	4点質問する。1点目に、総務省単価で試算しているとのことだが、これはいつ時点のデータを元に作られているのか。というのも、建築価格は東日本大震災をきっかけに大きく変動している。
事務局	今資料が手元にないが、調べればわかる。
委員	<p>このようなデータは、最新のデータもいつのかわからないデータも合算して算出していると思われるので、どこまで信頼できるのかが気になる。注釈にでも、根拠を記載しておいたほうがよい。2点目に、施設の評価について、これは施設ごとのウェイトを考慮されていないのではないかと。例えば、施設の周辺に住んでいる住民の数や、老人の割合などを考慮していない。それぞれ施設が持った役割というのがあるだろうから、横並びで評価しても本当の評価はできないのではないかと。3点目に、集会施設の利用状況について、午前、午後、夜間に分けて利用状況を把握しているとのことだが、夜間の利用はあっているのか。それこそ、若者が多い地域は夜間の利用が多く、そうでない地域は夜間の利用が少ないと思われるが、それを横並びに見て稼働率が1%と言うのはいかなものかと。また、人件費については、生月中央公民館を例にとると、施設管理だけでなく地域のサポートもしてもらっているのが現状である。議会でもそれぞれの施設に理由があるから単純に横並びに見てはいけないという指摘もあっていたようだが、これは完全に横並びで見ている。また、利用団体については、いきいきサロンが市内に24団体いるが、全て標記されていない。この資料で、利用率が低く、支出も大きいから廃止にしようというのは安易ではないかと。4点目に、度島の施設について記載がないがこれはどういうことか。</p>

事務局	<p>1点目の総務省単価について、いつ時点のデータか調べさせていただく。2点目の施設評価について、施設に付帯する情報として、周辺の人口や高齢化率などを加味すべきという意見については、委託業者とも話しをして検討させていただく。3点目の施設利用状況について、横並びに見るのは危険ではないかという意見については、この数字が直接公共施設等総合管理計画に反映されるものではないということをご理解いただきたい。4点目の度島の施設について記載がないという意見については、度島は市が所有する公民館・集会施設がないので記載されていないということである。</p>
会長	<p>24団体のサロンがあるという意見もあったが。</p>
委員	<p>わかっている分だけ記載したデータということなら、その旨注釈に記載するべきである。その辺りを疎かにすると、データの信頼性がなくなってしまうので注意してほしい。</p>
会長	<p>施設評価資料について、田平町相撲場に数字がまったく入っていないのはどういうことか。</p>
事務局	<p>所管課に調査した際、記入がされずに回答がきているので数字が入っていない。本来であれば全て数字が入っているべきところだが、管理が行き届いていなかった。</p>
会長	<p>一つの資料とするのであれば、その辺りはきちんとしなければならない。</p>
委員	<p>公共施設の統廃合を考えるときに、客観的根拠とか科学的根拠にこだわって、こういう数字が出たからこうすると持っていきたがるが、単純に合併した市町村で施設が多いというのは当然のことである。利用状況が低いから削減するというような科学的根拠でなく、もっと単純でいい方法があるのではないだろうか。他市の状況、例えば佐世保市はどのような基準で削減しているかといった情報は入手できないのか。</p>
事務局	<p>全国的に見れば、本計画を策定している団体もいるので、合併した自治体がどのような基準で統廃合を考えているのか参考にしていきたい。</p>
会長	<p>他市の状況がわかれば示していただきたい。</p>
委員	<p>施設評価の資料で、大島の教員住宅があるが、空き家になっているところもある。地域の話合いでも話題になるが、利用されていないから解体するというのではなくて、民間譲渡できないか。</p>
事務局	<p>廃止＝解体ではなく、民間譲渡、売却も視野に入れて検討していく。</p>

委員	40年先を予測するのは簡単なことではない。しかし、人口も減っていくなか将来的に見ると無駄な施設というのはたくさんあると思う。この計画は総務省から作るように言われているものなのか。
事務局	その通り。
委員	これは総務省が各自治体の状況を把握して、どれくらい財源が不足しているか予測するという目的があると思う。2025年問題で国も財政状況が苦しくなる中、各地方公共団体に下りてくる金も必然的に少なくなる。もっと全員が真剣にこの問題を考えなければいけないと思う。
委員	将来ということで見ると、度島、大島の離島、南部のへき地において、保育や介護の有資格者が集まらないことが懸念される。平戸市の空き家があれば、そういった方の利用を考えていただきたい。
委員	行政改革というと削減することばかり考えるが、離島やへき地のような特殊事情があるところは、手当てを出すとか施設を整備するという考えも必要だと思う。地域医療はそういう手当てを出して繋ぎとめているし、平戸市で手当てを出すのが難しいなら、せめて施設を充実させて待遇をよくするという工夫も必要なのでは。
事務局	優秀な人材の確保という観点から見れば必要な考え方だと思う。
委員	前も話したかもしれないが、廃止となった場合、情報は早めに周知したほうがよい。突然廃止と言われるから反対されるわけで、事前にきちんと説明されれば市民も納得されると思う。議員との調整もあるかもしれないが、こうなるかもしれないという情報でもいいので早めの周知をお願いする。
事務局	ごもっともだと思う。手順を追った伝え方をしていきたい。最後に、次回の日程について調整させていただく。
全委員	25日（火）9:00～で調整
会長	他に意見なければ、これで会議を締めさせていただく。次回は、本委員会での意見を踏まえて修正したたたき台を示していただきたい。資料については、会議がスムーズに進行できるよう、わかりやすく論点を絞り込んで作成していただきたい。以上で、第6回平戸市行政改革推進委員会を終了する。

平戸市行政改革推進委員会委員（名簿）

区分	氏名	所属・企業名	地区	職務	出欠
学識経験者	松永いづみ	松永いづみ税理士・行政書士事務所	平戸	会長	○
企業経営者	福田 詮	福田酒造（株）	平戸		○
	井元 宏三	（有）マルイ水産商事	生月		×
	吉永 享助	（有）平戸口 吉善商店	田平		×
市民代表者	黒崎 洋介	平戸市地域審議会委員	平戸		○
	岩井 誠	生月町地域協議会委員	生月	職務代理者	○
	早田 博子	田平町地域協議会委員	田平		○
	田中 範子	大島村地域協議会委員	大島		○
	松口 茂生	平戸市PTA連合協議会	平戸		○